

金属組織解析装置

平成27年度「公益財団法人JKA 公設工業試験研究所等における機械等設備拡充補助事業」にて導入

装置型式

DMI8 C - MC170HD - LAS (ライカマイクロシステムズ社製)

仕様

金属顕微鏡: 倒立型、明視野観察
接眼レンズ: 10倍、視野数25
対物レンズ: 1.25、2.5、5、10、20、50、100倍
中間レンズ: 2倍
デジタルカメラ: 1/2.3型CMOS 500万画素

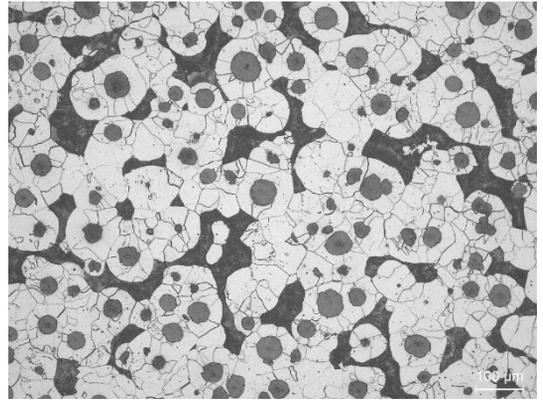


図 球状黒鉛鑄鉄の組織写真

特徴

- ・低倍率(12.5倍)から高倍率(2000倍)まで、肉眼により迅速に金属組織を観察することができます。
- ・高解像度での撮影や組織解析ができます。
- ・撮影像および観察像の長さ測定や、広範囲視野の合成、試料界面部の画像補正ができます。

期待される効果

本装置は低倍率から高倍率まで迅速に金属組織を観察・解析することが可能です。
これにより、金属の微細組織観察や組織評価が可能になります。

金属材料の組織微細化、製品高品質化を通して、ものづくり企業の製品開発、品質向上への取り組みを支援します。



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

金属組織解析装置は、公益財団法人JKAの平成27年度機械工業振興補助物件です。